

第6章 仮設住宅自治会間の連携は可能か —三春町連絡協議会と『みはる通信』から—

6.1 三春町に設置された富岡町仮設住宅

震災前に約16,000人の人口であった富岡町であるが、本稿執筆時（2017年2月末）は全町民が町外に避難している状況である¹⁾。本稿で議論の対象とする三春町への避難者推移を見ると（表1）、2012年3月の499名から一貫して減少傾向にあり、2017年2月においては251名とほぼ半減している。

表1 現在までの主な避難先別人数²⁾

	合計	県外計	北海道	青森・岩手・秋田・山形	宮城	東京・神奈川・千葉・埼玉	茨城・栃木・群馬	新潟
2012年3月21日現在	15,683	5,032	69	159	194	2,555	1,042	435
2013年3月1日現在	15,537	4,509	66	128	213	2,244	968	356
2014年3月1日現在	15,387	4,403	70	108	232	2,194	981	314
2015年3月1日現在	15,258	4,350	71	107	243	2,136	982	295
2016年3月1日現在	15,131	4,329	66	108	253	2,089	1,031	263
2017年2月1日現在	14,978	4,245	67	112	258	2,064	985	263
	福島							
	小計	福島	郡山	大玉	三春	会津若松	いわき	
2012年3月21日現在	10,651	489	3,200	325	499	208	4,863	
2013年3月1日現在	11,028	432	3,150	307	450	185	5,512	
2014年3月1日現在	10,984	414	3,052	286	397	177	5,671	
2015年3月1日現在	10,908	414	2,894	229	345	176	5,849	
2016年3月1日現在	10,802	391	2,771	182	290	162	6,004	
2017年2月1日現在	10,733	354	2,666	162	251	154	6,039	

富岡町から三春町内仮設住宅への避難者推移は以下の通りである（表2）。

表2 現在までの三春町内での避難者数³⁾

	仮設住宅			
	完成戸数	現管理戸数	入居戸数	入居人数
2011年9月29日現在	330	330	217	436
2012年4月26日現在	330	330	257	476
2013年4月18日現在	330	330	225	392
2014年4月24日現在	330	330	199	344
2015年4月30日現在	330	330	160	276
2016年4月28日現在	330	272	123	210
2017年1月31日現在	330	272	34	59

2016 年度から現管理戸数が減少したのは沢石仮設を閉じたためである。入居状況は 2011 年度末の 257 戸 476 名をピークに減少傾向にあり、昨冬に完成した平沢公営団地への入居もあって現時点では 34 戸 59 名となっている。因みに三春町内は 6 ヶ所の仮設住宅が設置されている。熊耳、平沢、三春の里、もみじ山、沢石、柴原萩久保である。その推移については以下に示す(表 3)。

表 3 2015 年までの各仮設住宅の入居戸数推移⁴⁾

仮設名	入居開始月	自治会設立	全戸数	戸数			
				11年度末	12年度末	13年度末	15年時点
熊耳	2011年6月18日	2011年8月	86	75	64	55	47
平沢	2011年6月18日	2011年8月	84	71	57	53	41
三春の里	2011年6月18日	2011年夏	18	17	13	13	13
もみじ山	2011年6月18日	2011年9月	34	29	29	26	23
沢石	2011年6月18日	2011年9月	58	31	31	26	9
柴原萩久保	2011年7月31日	2011年9月	50	39	34	32	24
計			330	262	228	205	157

三春町内に設置された富岡町仮設住宅とその自治会の変遷については別稿にゆずるとして、本稿は町内 6 仮設自治会の連携により設置された「連絡協議会」が発行した『みはる通信』の全号を分析し、メディアから見た仮設住宅と三春町との関係を検討していくことにする。

6.2 6 仮設自治会が連携した連絡協議会の設立

富岡町からの避難者が入居する熊耳、平沢、三春の里、もみじ山、沢石、柴原萩久保の仮設住宅に各々に設置された自治会による「自治会連絡協議会」は 2011 年 10 月 25 日に発足した。会長には熊耳会長の松本氏、副会長には柴原萩久保会長の遠藤氏が選出された。

設立趣旨としては

富田や大玉のような大規模な仮設ではなく、町役場への要望も大規模な仮設が優先されてしまうためであり、小さいところをくっつけて大きくして声を大きくしようというねらいがあった。

原発の仮払いの問題があった時、個々の意見では通らないと考え、協力して意見を出すために設立された。

というように(いずれも設立当時の連絡協議会メンバー)、仮設自治会間の情報共有というよりは小規模仮設の意見とりまとめが主な目的であったといえよう。

構成員は 6 つの仮設自治会長と富岡町三春出張所であり、主な活動は総会と『みはる通信』の発行である。後者についてこの前身は『熊耳通信』であり、

2011年8月頃から月1回、3号まで発行していたところ、町役場が「事務局をやるので三春地区の通信として出してほしい」という提案があった⁷⁾。

という経緯から、『みはる通信』発行へと至ったのである。連絡協議会の活動詳細についても別稿で論じるとして、ここでは『みはる通信』に焦点をあてて議論を進めていく。

『みはる通信』は三春町内の借り上げ住宅入居者（三春町内に住民登録している富岡町民が対象）も含めて400～500部の配布であり、借り上げも対象とするのは「三春に住む借り上げ住宅生活者も巻き込む」⁸⁾ことが目的である。支所スタッフが作成し、連絡協議会メンバーがチェックをして発行していた。誌面づくりについては2014年夏の段階では

社協の枠（おだがいさまセンター）と会長6名の枠（催し物、役場への連絡事項）にする。

となっていた⁷⁾。

次節では記事タイトルを概観することで、三春地区の仮設がどのような変遷を経ていったのかを明らかにしよう。

6.3 『みはる通信』の歴史

前節の経緯で発行されることになった『みはる通信』は2011年11月1日に第1号を富岡町災害対策本部みはる連絡所の名義で発刊された（写真1）。

表面に「今月の一枚」として沢石運動会、平沢のスペイン料理提供、熊耳でのバーベキュー、もみじ山の芋煮会、三春の里・柴原では喫茶と、6仮設それぞれについての活動・行事の紹介を行っている。左下には「自治会連絡協議会発足」とあり、会長と副会長が選任されたこと、町長や各課長も出席して今後の仮設や富岡町の動きを話し合ったことを記している。その右隣に「自治会会長紹介」として連絡協議会長であり熊耳仮設自治会長でもある松本氏が紹介されている。そして「編集後記」に『みはる通信』担当者の紹介が掲載されていた。

裏面は「11月行事予定」として三春町内の仮設住宅、三春町でのイベント、県議会選挙の案内が記されている。最後には「イベント」としてダンスイベントやさくらスポーツフェスタが紹介され、各々の簡単な様子が記されていた。

以降については表4から表13のそれぞれについて見ていきたい。表の見方であるが、左から順に号、発行日、タイトル、サブタイトル（ある場合）、概要となっている。大まかに半年単位でタイトルとその概要について実態とその変化を確認していくことにする。

発災1年後となる第5号までは「今月の一枚」「イベント」情報があり、それに加えて注意喚起がある。今月の一枚にはほぼ全ての仮設住宅について開催された行事などに関して写真も交えて記されている。



写真1 『みはる通信』第1号

2011年12月末に富岡町三春出張所が開設され、それに伴い第3号(2012年1月10日発行)から発行者が富岡町三春出張所と変更されている。しかしながら、第4号(2月6日発行)からは発行:三春地区自治会連絡協議会、編集・企画:三春町三春出張所とさらに変更が加えられた。

雪が少ない浜通り地方に比べて、三春は中通りに属し、冬は雪も降ることが多い。そのため第4号では注意喚起として「水道の凍結には気をつけましょう」「雪道の運転にはご注意ください」が掲載されている。

第4号にある「自治会連絡協議会の動き」では以下の記載がある。

三春地区富岡町応急仮設住宅自治会連絡協議会では昨年末以来、町、町議会、東京電力に対して、原発賠償や避難生活の改善について要望活動を実施しています。

要望の結果、現在のところ、仮払金の精算方法の改善や放射線量の測定会の実施などが実現しました。

連絡協議会では引き続き要望活動を実施していきますので、困っていることや改善してほしいことがございましたら各自治会長までご連絡下さい。

表4 第1(創刊)号～第5号の概要⁸⁾

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
1	2011年11月1日	今月の一枚 11月行事予定 イベント	沢石運動会 平沢 スペイン料理 熊耳 BBQ もみじ山 芋煮会 三春の里・柴原 喫茶 自治会連絡協議会発足 自治会会長紹介 編集後記 ダンスイベント さくらスポーツフェスタ	10月2日に沢石中で開催。富岡町から20名参加 9月26日に炊き出し 9月23日に開催 防火講習会後に実施 おだがいだまセンターによる喫茶ボランティア 10月25日に開催。会長、副会長が選出 熊耳自治会会長の紹介 編集担当の自己紹介 10月22-23日、まほら・三春の里・熊耳にて開催 10月22日、大玉村農村環境改善センターにて開催
2	2011年12月1日	今月の一枚 12月行事予定 イベント	柴原 幼稚園児との交流会 三春の里・もみじ山 プランター 寄贈 沢石 お茶会&コーラス 熊耳 芋煮会 平沢 パーベキュー 火災予防運動 自治会会長紹介 編集長の食べ尽くし 富岡・三春・田村消防団合同訓練 岸波さん作品展 移ヶ岳ハイキング 桜開花? 三春秋祭り	11月2日に富岡町幼稚園の園児と交流 11月19日に桜中学校より寄贈 郡山市のボランティア団体によるコーラス 19日に田村自動車教習所協賛により開催。100名以上参加 11月3日、ハートフルふくしま主催で開催 三春担当消防団と各自治会で実施 柴原秋久保自治会長の紹介 ひろ美食堂のメニュー紹介 11月13日沢石仮設付近で開催 13日御木沢地区で開催。沢石仮設に入居 16日にハイキング開催。14名参加 11月4日に沢石仮設内の桜が開く 11月5日、6日に開催
3	2012年1月10日	今月の一枚 イベント	イルミネーション点灯式・追悼式 熊耳 クリスマス会 沢石 クリスマス会 柴原 炊き出し 三春の里 AED&消火器講習会 もみじ山 クリスマス 平沢 餅つき いぶき 餅つき 富岡町三春出張所開所式	12月11日に熊耳仮設で自治会連絡協議会主催にて開催。150名以上が参加 12月24日開催。80名以上が参加 12月17日開催、福島大学生による協力 おだがいだまセンター支援にて、70名の参加 12月3日に田村消防三春分署の協力で開催 12月25日開催 12月11日に山形・大曾根餅つき保存会支援により開催 12月27日にふれあいの丘「いぶき」支援により開催 12月19日に開所
4	2012年2月6日	今月の一枚 水道の凍結には気をつけましょう 雪道の運転にはご注意ください 裏磐梯スノーシューハイク&温泉 日帰り 三春地区放射線測定	熊耳餅つき交流会 フェイスマッサージ&メイクアップ あけびつる細工 歌ってみよう コーラス会 自治会会長紹介 編集長の食べ歩き	1月13日富岡町立幼稚園児らが訪問。20名以上が参加 21日に資生堂支援により、三春の里・もみじ山・熊耳で開催 12-18日、23-24日に各仮設で開催 27日に柴原仮設で郡山在住の有志により開催 平沢自治会会長の紹介 石井食堂のメニュー紹介 水道の水抜きに関する注意喚起 運転の心構えなど 3月14日、葛尾村・富岡町三春出張所等の主催。定員50名 1月23日測定、各仮設・せきれい保育所が対象
5	2012年3月7日	今月の一枚 自治会連絡協議会の動き イベント情報 印鑑登録ができるようになりました	沢石 布草履作り せきれい保育施設 節分 玄侑宗久さん交歓会 熊耳 韓国料理教室 柴原 花傘踊り もみじ山 語り部 県民カレッジ人づくりセミナー 震災と文化 東日本大震災復興応援コン サート 団十郎がやってくる	2月20日に社協の協力により開催 3日に開催 16日に沢石、柴原仮設にて開催。各20名程参加 29日に開催 1日に柴原仮設で開催 27日に語り部が来訪 14日に農業総合センターで開催 要望活動について紹介 10日にまほらホールにて開催 18日にまほらホールにて開催 27日にまほらホールにて開催

この段階では(告知レベルではあるが)、後にメンバーから「ほとんど活動がなくなった」という連絡協議会は機能していることがうかがえる。同じく第4号で「三春地区放射線測定」

として各仮設と保育所の放射線量が記載された。

震災2年目の前半となる第6号から第11号を確認する(表5)。

第6号(2012年4月18日発行)には連絡協議会の新会長の紹介と各仮設自治会長の顔写真が掲載された。

表5 第6号～第11号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
6	2012年4月18日	新会長に阿部秀一さんを選任 お知らせ 24年度もよろしくお願ひします とみおか元気アップ教室 さくら健康ストレッチ教室 ヨークベニマル三春店無料バス運行	柴原桜まつり 熊耳 イベント 三春町滝桜観光についてのご案内 三春春まつり 表磐梯スノーシューハイキング	連絡協議会メンバーの紹介 22日に開催 5月3日を予定、神戸からのボランティア来訪 駐車場、時間などの説明 内容、時間などの説明 3月14日開催、富岡・葛尾から33名参加 各仮設連絡員、出張所員の紹介 平沢仮設で開催。内容、時間などの説明 熊耳仮設で開催。内容、時間などの説明
7	2012年5月21日	まちなかに響く復興への勝どき とみおかスポーツフェアin三春 鬼面山ハイキング&温泉 柴原秋久保桜まつり 熊耳自治会春祭り 休日診療のお医者さん 簡単 豆知識コーナー 第17回三春オープンゴルフ大会 三春熊耳「こども広場」		5月5日に三春春まつりが開催 6月9日に三春町運動公園で開催 6月11日に開催、定員20名 4月22日に開催 5月3日に関西団体支援により開催 周辺各地の診療所一覧 放射線と放射能を説明 6月24日安達太良カントリークラブにて開催 6月9日、23日に開催
8	2012年6月22日	鬼面山ハイキング とみおかスポーツフェアin三春 かすみっ子 チャリティ和 ライブ 第2回健康ウォーキング 休日診療のお医者さん 簡単 豆知識コーナー 出張所からのお知らせ		11日に開催、約40名が参加 9日に開催、約200名が参加 7月15日にまほらホールで開催 8月4日に開催 周辺各地の診療所一覧 シーベルトとベクレルの単位について説明 「写真で綴る富岡町」を各仮設で展示
9	2012年7月30日	三春の里、沢石ベクレルセンター 開所 夏祭りin郡山 ミュージックフェスタ 2012 熊耳仮設に人形劇がやってくる 休日診療のお医者さん 色鮮やかな花に囲まれて～沢石 花いっぱい運動～ 無理なく上手に節電を		施設の案内 8月11日にておだがいさまセンター前で開催 8月5日に三春ダムで開催 8月5日に東京の人形劇団が来訪 周辺各地の診療所一覧 6月25日に三春町赤十字奉仕団による支援。30名が参加 節電の方法を説明
10	2012年8月28日	富岡町住民説明会の開催及び送 迎バス運行のお知らせ 熊耳サッカー & 韓国料理教室 白河復興応援プロジェクト さくらスポーツクラブ 安達太良山 ハイキング 休日診療のお医者さん 食中毒にご注意を		各仮設からの送迎バス運行、説明会の内容 8月3日に開催。三春スポーツ少年団15名が参加、各仮設・借り上げから約20名が参加 9月2日、東京六大学応援団連盟による支援 9月22日開催 周辺各地の診療所一覧 予防について説明
11	2012年9月26日	読書の秋、食欲の秋、運動の秋 中学生が職場体験をしました みんなで楽しいバーベキュー 福島と京都の学生さんとの交流会 イベント お知らせ 休日診療のお医者さん 簡単 豆知識コーナー	三春秋まつり みはるGENKIプロジェクト 食品と放射能に関する学習会 HAT-J安達太良山ハイキング &温泉	各仮設での体操教室の案内 9月13-14日、富岡1・2中生徒約20名が参加 9月2日に平沢仮設で開催 16日に三春の里仮設で開催 11月3-4日にまほら周辺で開催 9月29日にまほらで開催 10月6日まほらで開催 10月12日に開催、定員10名 周辺各地の診療所一覧 ベクレルのシーベルトの換算

その欄には新会長の抱負として

自治会一つ一つが協力して活動していきたい。三春町との地域交流を図り連絡協議会として地域貢献をしたいと思う。役所や各団体とも連携し、一丸となつてすすめていきたい。

が述べられており、連絡協議会が果たす役割の一つとして「三春町との地域交流・地域貢献」をあげていた。

またこの時期からの特徴として、「今月の一枚」という各自治会に取り組み実績を紹介するコーナーが明示されなくなったこともあるのか、「告知もの」の割合が増えている。具体的には教室案内、無料バス運行、豆知識コーナー、(仮設以外の) イベントなどである。震災から2年目であることや入居してから1年近く経つこともあり、各仮設が認知されたために記事にしなかったのだろうか。一方では三春町や福島県など、富岡町以外が主催する催しについての告知が多い。とはいえ目立ったイベントはなくても、各人の生活状況やそれに対する自治会の対応といった日常の活動を、たとえ平凡であっても掲載する必要はなかったのだろうか。

「簡単 豆知識コーナー」は放射線と放射能、シーベルトとベクレルの違いについての簡単な解説が記されている。第11号(9月26日発行)に「お知らせ 食品と放射能に関する学習会」があるように、発災後1年を経ているもののこの種の情報ニーズがあるといえるのだろう。

他には第10号(8月28日発行)に「富岡町住民説明会の開催及び送迎バス運行のお知らせ」がトップで掲載されている。各仮設からの送迎バス時刻、国からの説明事項として①賠償の基準②区域の見直し③除染等④その他が記載されていた。

続いて2012年度の下期となる第12号から第17号についてである(表6)。

この時期も「告知もの」が多いなかで第14号(12月25日発行)では「復活 豆知識コーナー」に脳卒中予防に関する紹介が記されている。仮設住宅での生活が1年以上となり、様々なトラブルや健康上の問題が顕現していることもあり、こうした注意喚起が必要となったのだろうか。

2013年新年号となる第15号(2013年1月24日発行)では「避難指示区域見直しに伴う説明会、送迎バス運行のお知らせ」がこれもトップとなっている。「震災から2回目の新年を迎え」では以下のような表記があった。

避難から2回目の新年を迎え、皆さんどの様なお正月を過ごされましたか?慣れない積雪による雪かきや、凍結した道路の運転にも一苦労かと思いますがお互いに協力しながら、寒い冬を乗り越えましょう。

この下に沢石、熊耳仮設での各サロン活動、もみじ山仮設での餅つき大会が写真入りで掲

載されていた。また、第 17 号(3 月 27 日発行)から「富岡のひと」という富岡町出身者のプロフィールを裏面の半分以上を費やし紹介している。このコーナーは第 24 号(10 月 30 日発行)まで続けられた。

表 6 第 12 号～第 17 号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
12	2012年10月25日	情緒あふれる三春の歴史を歩く 切り紙アートの世界 安達太良山ハイキング 田村地方植樹祭 第9回三春秋まつり 三春出張所日・祝日閉庁のお知らせ 町民団基大会参加者募集 舞踊ミュージカルチケット無料配布 休日診療のお医者さん		『三春街なか散策と芋煮会』を三春町観光ボランティア外との会主催にて、10月10日開催。約30名が参加 10月17日に平沢仮設にて、船引仮設在住者により開催 10月12日に開催、約20名参加 10月22日、三春の里農業公園にて開催 11月3-4日まほら前で開催。60店、21団体が参加予定 11月3日から祝日は完全閉庁に 11月11日三春町文化伝承館にて、三春囲碁クラブにより開催 11月8日郡山市民文化センターにて開催 周辺各地の診療所一覧
13	2012年11月27日	第9回三春秋まつり 第11回御木沢地区文化祭 雨の中でも元気いっぱい辛っぱい 受賞者の皆さんおめでとうござい ます クリスマスイルミネーション 夜道にはご注意を 秋空紀行 休日診療のお医者さん 沢石ベクレルセンター閉所のお知らせ 今月のオフショット 二瓶真悠ヴァイオリンリサイタル		11月3-4日まほら前で開催 11月12日に開催、平沢仮設も協力 富岡幼稚園の子供たちが柴原仮設周辺の畑のサツマイモを収穫、三春の里ペクレルセンターも測定に協力 10月25日にまほらにて「第42回三春町高齢者作品展表彰式」にて富岡町から5名が表彰された 12月15日三春交流間にて開催 通行注意の説明 11月16日もみじ山仮設主催で茨城紅葉名所を行くバスツアーを開催 周辺各地の診療所一覧 11月末で閉所。三春の里は継続 三春秋まつりの様子 12月23日まほらにて開催
14	2012年12月25日	子供達との交流の場 沢石仮設住民の健康法 三春イルミネーション 三春だるま市 福聚寺もちつき大会 町民の皆様へ 沢石ベクレルセンター閉所のお知らせ 休日診療のお医者さん 年末年始のお知らせ	除雪にご協力お願いします	12月11日三春の里仮設で開催。県老人クラブ連合会主催 12月開催の卓球大会の様子 12月1日～1月6日 三春公園 1月20日大町おまつり道路にて開催 12月26日に開催 除雪の説明 11月末で閉所。三春の里は継続 周辺各地の診療所一覧 出張所は12月29日から1月3日まで閉所
15	2013年1月24日	避難指示区域見直しに伴う説明会、送迎バス運行のお知らせ 震災から2年目の新年を迎え 猪苗代スノーシューハイク&温泉日帰り 花粉症対策はお早めに 引き続きインフルエンザにご注意を 休日診療のお医者さん		2月11日ビッグパレットふくしまで開催の案内 沢石仮設サロンでの紙風船パレー、熊耳仮設サロンでのカルタ取り、もみじ山自治会による12月28日開催の餅つきの紹介 2月26日開催、定員20名 対策紹介 対策紹介 周辺各地の診療所一覧
16	2013年2月27日	首相夫人来訪 冬空紀行 陶芸は一生続けていきたい 就職相談会開催のお知らせ 運転時の燃費を見直しましょう 休日診療のお医者さん		2月5日、熊耳仮設、富岡幼稚園、小中学校を訪問 2月22日沢石住民主催の「なかよしグルメツアー」、沢石・平沢仮設から約20名参加 熊耳仮設で毎週水曜午後から陶芸教室を開いている三浦さんの作品、活動紹介 三春町3月12日、本宮市3月21日開催 節約方法の紹介 周辺各地の診療所一覧
17	2013年3月27日	アンナさんありがとう 猪苗代の冬を歩く 三春出張所からののお知らせ 富岡のひと 田村地区休日診療のお医者さん お花見スポット		3月24日に熊耳仮設に土屋アンナが訪問 2月26日のスノーシューハイキングを紹介。富岡・葛尾から30名参加 4月1日より各種証明書等手数料が有料となる説明 岸波正和さんの紹介 周辺各地の診療所一覧 小野、船引、郡山、会津若松のスポット紹介

次に2013年度下期（第18号～第23号）を概観する（表7）。

第18号（4月26日発行）は新年度一号恒例となる「平成25年度三春地区自治会連絡協議会」の記事である。そこでは新会長が選任されたこと、協議会の運営について、

当初の基本理念に則り、親睦と交流を図る活動をしていくことを確認したほか、三春町内に復興住宅を整備することについて町に早急にアンケートを実施することを要請しました。

が記されていた。それを受けてなのだろうか、裏面に「町民の皆様へ 町民意向調査のお願い」があり、そこには「三春町内への災害公営住宅設置」についてのアンケート調査を実施、5月15日締切であることが示されていた。「連絡協議会」は機能を果たしているといえよう。

表7 第18号～第23号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
18	2013年4月26日	第2回三春時代行列 平成25年度三春地区自治会連絡協議会 柴原クリーンアップ活動 平成25年度連絡員&三春出張所職員紹介 町民の皆様へ 『ファームパークいわえ』ボランティア募集 田村地区休日診療のお医者さん	町民意向調査のお願い	5月5日に三春中心市街地にて開催 新会長に渡辺高一さんを選任 4月6日仮設周辺でゴミ拾い実施、約20名参加 各仮設連絡員、出張所員の紹介 「三春町内への災害公営住宅設置」についてのアンケート実施。 締め切りは5月15日 応募方法 周辺各地の診療所一覧
19	2013年5月27日	三春時代行列 みんなで苗を植えたよ 三春出張所より 卓球交流会 田村地区休日診療のお医者さん 就職相談会開催のお知らせ 雄国山ハイキング&日帰り温泉		5月5日のイベント紹介。約220名が参加 5月22日に柴原仮設近くで幼稚園児ら11名による芋掘り 富岡町無料巡回バス時刻変更のお知らせ 5月12日に沢石仮設にて開催 周辺各地の診療所一覧 6月17日開催 6月28日開催。定員20名
20	2013年6月26日	三春の里夏まつり 元気アップ教室へ行ってきました 富岡のひと 悪質な「訪問販売によるリフォーム工事」にはご注意ください 田村地区休日診療のお医者さん		7月28日に三春の里田園生活館で開催 平沢仮設で毎週火曜日に開催の教室紹介 もみじ山仮設在住の木下和子さんの紹介 注意喚起 周辺各地の診療所一覧
21	2013年7月26日	宿題は早めに終わらせよう 熱中症対策をして夏を乗り切りましょう 富岡のひと 田村地区休日診療のお医者さん 情報お待ちしています		ビーンズふくしまによる学習支援紹介。熊耳と三春の里で開催 対策紹介 社協スタッフの紹介 周辺各地の診療所一覧 情報提供のお願い
22	2013年8月28日	ふるさと富岡へ思いをこめて 盆踊りフォトギャラリー 暑さを癒してくれる水車発見 東日本大震災復興支援チャロアン サンプルコンサートin三春 田村地区休日診療のお医者さん 今月のオフショット	熊耳復興盆踊り コーラ早飲み競争 郡山商業高等学校のチアリーディング部 小浜地区伝統・風童太鼓の演奏	8月10日に熊耳仮設にて開催 各活動紹介 各活動紹介 各活動紹介 もみじ山仮設近所にある水車の紹介 9月7日まほらにて開催 周辺各地の診療所一覧 盆踊り準備の紹介
23	2013年9月27日	富岡小学生と三春の里住民の楽しい交流会 効果的なウォーキングを 富岡のひと 田村地区休日診療のお医者さん 今月の元気さん		9月18日の交流会紹介、三春の里仮設で開催 方法の説明 庄司夫妻による柴原仮設周辺の畑作業の紹介 周辺各地の診療所一覧 柴原仮設の連絡さん

読者層を想定してか、比較的年配者向けの誌面構成になっているが、第 21 号(7 月 26 日発行)ではデザインがやや変更(写真 2)されるとともに「宿題は早めに終わらせよう！」と NPO による「こども広場&学習サポート」の案内が示されるとともに、熱中症対策への告知として「特に！子供は大人よりも地面に近い環境のため、さらに高温な環境にいることになります」が記されていた。また、本号から「〇月号」と記載されることになった。

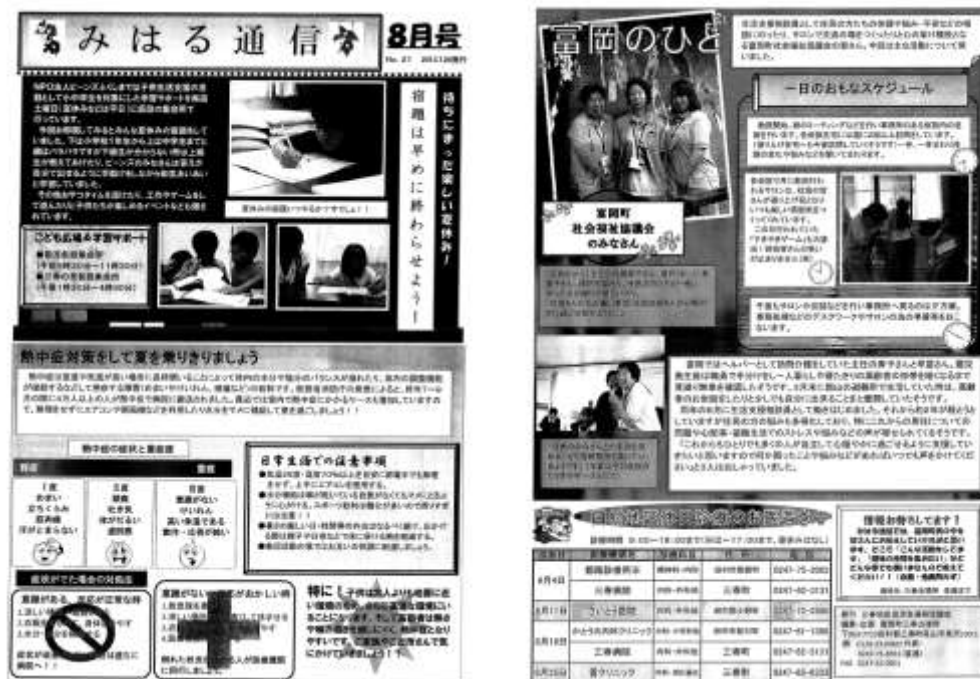


写真 2 『みはる通信』第 21 号

三春町内 6 仮設の大きなイベントの一つとして「熊耳復興盆踊り」がはじまったのは 2013 年の 8 月 10 日である。第 22 号(8 月 28 日発行)に表面全面で紹介されていた。「ふるさと富岡へ思いをこめて」というタイトルに盆踊り、コーラ早飲み競争、チアリーディング部、小浜地区伝統・風童太鼓の演奏シーンと各々の説明が加えられていた。

次に 2013 年度下期に発行された第 24 号～第 29 号を確認する(表 8)。「編集後記」によれば第 24 号(10 月 30 日発行)で「約 1 年に渡り、みはる通信を作ってきた」担当が変わるとの記述がある。因みにこの編集後記であるが、第 1 号(2011 年 11 月 1 日発行)と本号の 2 回のみを設定であった。

2014 年初頭に発行された第 27 号(1 月 24 日発行)である 2 月号に「2014 年～新年を迎えて～」には柴原萩久保のサロン、もみじ山仮設の餅つきといった仮設自治会での活動紹介

とカルタや雑煮に関する記事が載せられていた。

第29号(3月27日発行)の4月号では「あの日から、3年・・・」に郡山市内の斎場で開催された富岡町東日本大震災慰霊祭がとりあげられ、誓いの言葉を読み上げた熊耳仮設在住児童の写真も掲載された。本号では裏面に「福島県復興公営住宅入居募集のご案内冊子について」があり、公営団地に関しては初掲載であった。

表8 第24号～第29号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
24	2013年10月30日	日山ハイキング&日帰り温泉 第10回三春秋まつり 就職相談会開催のお知らせ 富岡のひと 田村地区休日診療のお医者さん 編集後記		11月20日開催、定員20名 11月9-10日、三春町運動公園にて開催 11月7日・21日、26日開催 三春の里ベクレルセンター職員の松村さん紹介 周辺各地の診療所一覧
25	2013年11月28日	三春秋まつり 山登りに出かけてリフレッシュしよう インフルエンザが流行する季節になりました 味の素料理教室 田村地区休日診療のお医者さん 除雪シーズン到来		11月9-10日開催の紹介 11月20日開催の日山ハイキングの紹介。38名が参加 11月6日もみじ山仮設にて開催 周辺各地の診療所一覧 注意喚起
26	2013年12月25日	子どもたちの笑顔に感謝 わらべ地蔵寄贈会 乾燥の季節、火災にご用心 三春の里ベクレルセンター ごみの収集・持込 田村地区休日診療のお医者さん 年末年始のお知らせ		12月17日に熊耳仮設へ富岡1中・2中がボランティアに 11月26日、わらべ地蔵プロジェクトが各仮設に訪問 防火の6つのポイントなどの紹介 年末年始の休業日 収集方法の紹介 周辺各地の診療所一覧 出張所閉所案内
27	2014年1月24日	2014年～新年を迎えて 除雪作業にご協力ください 猪苗代スノーシューハイイク&日帰り温泉 冷え性オスメ対策 田村地区休日診療のお医者さん		12月26日にもみじ山仮設でもちつき開催。1月16日に柴原仮設にてサロンが開催 除雪の説明 2月25日開催、定員40名 対策の説明 周辺各地の診療所一覧
28	2014年2月27日	猪苗代スノーシューハイキング 沢石 あげびつる 柴原 蕎麦打ち教室 田村地区休日診療のお医者さん 食事で風邪の予防をしましょう		2月25日に開催、22名が参加 2月20日、沢石仮設にあげびつる工房が来訪 2月13日、柴原仮設で開催 周辺各地の診療所一覧 予防方法紹介
29	2014年3月27日	あの日から、3年・・・ 柴原ひな祭り 三春出張所からのお知らせ 田村地区休日診療のお医者さん	第6回 さくらの里クリーンアップ作戦 税関係証明書の発行手数料について 福島県復興公営住宅入居募集のご案内冊子について	3月11日郡山市内の斎場で震災慰霊祭 3月2日、柴原仮設で開催。婦人が主体となり実施 4月5日～5月5日開催。三春町滝桜観光の紹介 4月5日さくら湖周辺で開催 冊子配布の紹介 周辺各地の診療所一覧

2014年度上期(第30号～第35号)を確認する(表9)。新年度であることから「平成26年度三春地区自治会連絡協議会を開催しました」があり、会長・副会長の再任、協議会発行のみはる通信の発行継続を決定、記事の内容は今後整備される復興公営住宅関連の情報、町からの告知を随時掲載することを確認した旨が記されている。

以前に「富岡のひと」コーナーがあったが、本号から「富岡の顔」として本通信を発送し

ている三春町、田村市、小野町、郡山市西田町在住の富岡町民を紹介するコーナーへと発展したかたちで復活している。基底にあるテーマとしては「避難先で前向きに取り組んでいる富岡町民」であろうか。例えば「ものづくり」(30、37、38、40号)、「仮設自治会長としての奮闘」(31、39号)、「農作業」(32、35号)、「生業の再開」(33、36号)、「避難先スポーツでの活動」(34号)などである。

その他については30号と号を重ねたこともあり、内容もある程度の範囲内で推移しているといえる。

一つとりあげれば、第33号(7月23日発行)の8月号で「仮設連絡員 AED講習会」がある。連絡員の紹介は年度初めの号に掲載されているが、このような記事は他には見うけられず、「連絡員はここまで対応できます」といった告知の意味が込められているのだろうか。

そして「第2回熊耳夏祭り盆踊り大会」は第34号(8月26日発行)の9月号に紹介されていたが、表面上段と昨年の半分程度の扱いとなっていた。

表9 第30号～第35号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
30	2014年4月28日	三春の里ベクレルセンターを活用しましょう 平成26年度三春地区自治会連絡協議会総会を開催しました 富岡の顔 平成26年度仮設連絡員&三春出張所職員 第3回三春時代行列について 田村地区休日当番医		施設の案内 4月17日三春の里仮設で開催。みはる通信の発行継続が決定 三春町内の雇用促進住宅入居者の大山さん紹介 各仮設連絡員、出張所員の紹介 5月5日に三春町中心市街地にて開催 周辺各地の診療所一覧
31	2014年5月26日	三春時代行列 富岡の顔 ハイキング&日帰り温泉のお知らせ 6月の行事予定 田村地区休日診療のお医者さん	とみおかスポーツフェスタ	総勢約150名が参加 柴原仮設自治会長の高橋さん紹介 7月11日開催、定員20名 6月7日三春町運動公園にて開催 周辺各地の診療所一覧
32	2014年5月26日	沢石仮設住宅ボランティア活動 無料個別就職相談 富岡の顔 花しょうぶ祭 休日診療のお医者さん		5月24日に富岡1中・2中全校生徒23名により開催 7月11日まほらにて開催 三春町在住の猪狩さんの紹介 6月29日ファームパークいわえで開催、先着500名 周辺各地の診療所一覧
33	2014年7月23日	柴原仮設住宅七夕の短冊にお願い 3B体操ラジオ生中継 蚊に刺された後の対処法 富岡の顔 仮設連絡員AED講習会 三春の里 夏まつり 田村地区 休日当番医		七夕飾りの紹介 7月8日柴原仮設で開催 対策方法の紹介 平沢仮設入居者の佐藤さんの紹介 7月10日に熊耳仮設にて開催 7月27日開催 周辺各地の診療所一覧
34	2014年8月26日	第2回熊耳夏祭り盆踊り大会 ハイキング&温泉 富岡の顔 三春の里 夏まつり 田村地区 休日当番医		8月9日熊耳仮設にて開催 7月28日に開催 三春町在住の安部くんの紹介 7月27日、三春の里で開催 周辺各地の診療所一覧
35	2014年9月29日	盆踊り 消火訓練 富岡の顔 白湯 田村地区 休日当番医 福島県復興公営住宅入居募集のご案内冊子について	三春町 沢石地区	8月15-16日、まほら前にて開催 8月14日に開催 8月27日、三春の里仮設にて開催 もみじ山仮設入居者の渡部さん紹介 作り方などの紹介 周辺各地の診療所一覧 冊子配布の紹介

2014年度下期(第36号～第41号)を見てみよう(表10)。秋の恒例行事になっている「柴原 いも掘り&いも煮会」の様子は第36号(10月27日発行)に表面三分の二段を費やして掲載されている。他のイベントとしては、第38号(12月24日発行)に沢石仮設ともみじ山仮設で開催された「クリスマス会」、第39号(2015年1月26日発行)では「熊耳仮設住宅 餅つき開催しました」、第40号(2月26日発行)は「平沢仮設住宅 防災講話&新年会」と「沢石仮設住宅 柴原萩久保仮設住宅 サロン「ものづくり」に参加」、第41号(3月26日発行)「蕎麦打ち開催 柴原萩久保仮設住宅」など、仮設住宅自治会が主体となったものを表面のほとんどを費やして取りあげていた。

表10 第36号～第41号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
36	2014年10月27日	柴原 いも掘り&いも煮会 田村地区 休日当番医 平成26年度三春町文化祭 富岡の顔 霊山日帰りハイキングのお知らせ 三春秋まつりのお知らせ	いも掘り いも煮会	9月30日柴原仮設前の畑で富岡幼稚園児による芋掘り他県紹介 10月5日に開催 周辺各地の診療所一覧 11月9日までの予定 船引町在住の佐藤さんの紹介 12月10日、定員20名 11月1-2日、三春町運動公園にて開催
37	2014年11月28日	三春秋まつりand三春ウォーク 収穫祭 富岡の顔 簡単Xmas・リース 田村地区 休日当番医 おみこしワッショイ柴原		11月1-2日開催の紹介 10月26日三春の里田園生活館にて開催 沢石仮設入居者の佐藤さん紹介 作り方紹介 周辺各地の診療所一覧 11月5日中郷幼稚園児による活動紹介
38	2014年12月24日	日帰りハイキング&温泉 クリスマス会 富岡の顔 中学生ボランティア 田村地区 休日当番医 年末年始閉所のお知らせ	沢石仮設 もみじ山仮設	12月10日開催の紹介 12月20日開催の紹介 12月22日開催の紹介 三春町在住の斉藤さん紹介 12月10日に三春校の中学生約30名が平沢仮設にて実施 周辺各地の診療所一覧 閉所期間の告知
39	2015年1月26日	熊耳仮設住宅餅つき開催しました 富岡の顔 スノーシュー・ハイク&温泉 田村地区 休日当番医 原子力損害賠償に関する相談会		12月26日にビーンズふくしまかくによる餅つき、ゲーム会が開催 三春の里自治会長の渡辺さんの紹介 2月28日開催、定員20名 周辺各地の診療所一覧 各仮設での開催日時
40	2015年2月26日	平沢仮設住宅 防災講話&新年会 サロン「ものづくり」に参加 富岡の顔 フェルトで小物づくり 田村地区 休日当番医 ねずみ捕獲用シート及びごみ袋を配布		1月25日富岡消防署による講話、その後開催の新年会には20名が参加 2月9日沢石仮設、2月12日は柴原仮設でサロン開催 三春町在住の松村さんの紹介 作り方紹介 周辺各地の診療所一覧 期間、枚数
41	2015年3月26日	スノーシュー・ハイキング 蕎麦打ち開催 第7回さくらの里クリーンアップ作戦 三春の里ベクレルセンター定休日のお知らせ 富岡の顔 三春出張所からのお知らせ 三春なかま蔵 田村地区 休日当番医 田村地方 夜間診療所		2月28日開催の紹介 2月15日柴原仮設で開催。20名ほど参加 4月4日、三春ダム周辺で開催 定休日変更の説明 平沢仮設入居者の佐藤さん紹介 土曜日の対応について 施設紹介 周辺各地の診療所一覧 周辺各地の診療所一覧

さて、2015年度の上期(第42号～第47号)を確認しよう(表11)。

第42号(4月27日発行)毎年度初めの恒例となった「連絡協議会」に関する記事がない。

実のところ、第 30 号を最後に取りあげられていない。これは何を意味しているのだろうか。協議会メンバー⑨の聞き取りによれば、

連絡協議会の活動はほぼゼロに等しい。公営住宅入居のアンケートをとったくらい。仮設の状況が変わったら連絡を取り合おうと考えている。会合は春にやったのだが、役員改選、役場からの復興住宅案(新聞より早くわかり次第教えて欲しいと依頼)、各仮設の状況に応じて招集をかけることになった。ただ、連絡員を通じて把握しているのだから、こうした会合はなくてもよいのかもしれない。

表 11 第 42 号～第 47 号の概要

42	2015年4月27日	柴原お花見会 もみじ植樹祭 放射線勉強会 三春の里グリーンアップ作戦 三春の滝桜、地球外へ進出 三春出張所で交付可能な各種証明書について 平沢仮設住宅 台湾交流会 田村地区 休日当番医		4月12日柴原仮設内で開催 3月29日第二もみじ山にて開催 3月23日熊耳仮設にて開催 4月4日開催。三春の里、もみじ山仮設住民が多数参加 記事紹介 3月6日に丘の上チャペル主催により開催 周辺各地の診療所一覧
43	2015年5月26日	なりすまし詐欺 続発中 お花見 お茶会 こどもたちの田植え体験 健康促進 ハンドグリップ運動 三春出張所からのお知らせ ねずみ捕りシート&袋 6月の休日当番医		現状と対策方法紹介 もみじ山仮設で開催 活動紹介。昼ご飯を熊耳仮設の女性入居者が提供 柴原仮設で健康福祉課による健康体操開催 施設紹介 配布紹介 周辺各地の診療所一覧
44	2015年5月26日	柴原仮設住宅毎年恒例も苗植え ぜんまい たくさん採れました 「とらや」の羊羹を食べる お茶会 開催 熊耳仮設住宅 中学生ボランティア 7月のイベント 三春の里仮設住宅 味の素クッキング 7月の休日当番医	母親大会	活動紹介 平沢仮設の佐藤さんが小国町での活動紹介 平沢、柴原、熊耳で開催 5月27日の富岡町立中学生による活動紹介 7月5日、船引小学校にて開催 6月5日の活動紹介 周辺各地の診療所一覧
45	2015年7月21日	柴原仮設住宅 料理教室が行われました 韓国料理参鶏湯を頂く つるし飾り『宝袋』を作りました 平沢団地安全祈願祭 三春の里 夏祭り開催のお知らせ 熊耳仮設 夏祭り盆踊り大会のお知らせ 今年もきれいな蓮が咲きました 8月の休日当番医		6月15日の活動紹介。6名参加 6月20日もみじ山仮設にて、在日大韓基督教教会主催にて実施 6月23日に沢石仮設にて開催 6月12日に平沢団地予定地にて開催 7月26日開催、昨年の様子を掲載 8月8日開催のお知らせ 柴原仮設での出来事 周辺各地の診療所一覧
46	2015年8月26日	第3回 夏祭り盆踊り大会 三春の里 夏祭り 日帰りハイキング 沢石盆踊り大会 もみじ山クラフトかご作り 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 9月の休日当番医のお知らせ		8月8日に熊耳仮設で開催 7月26日に三春の里仮設で開催、沢石仮設からの移入者などの歓迎迎会も実施 8月19日に開催 8月14日沢石小学校体育館で開催 8月21日に開催 8月20日の進捗状況は23% 周辺各地の診療所一覧
47	2015年9月28日	三春出張所に非破壊放射能測定装置を導入しました 平成27年度国勢調査にご協力下さい 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 10月の休日当番医のお知らせ		装置の説明 調査、調査員の説明 進捗状況は約30% 周辺各地の診療所一覧

となっていて、後述することになるが平沢地区に建設中の公営住宅への移住に向けて、連絡協議会自体の役割が終わりつつある／終わったのが昨年の2014年度ということを示しているのかもしれない。

記事の扱いは裏面であったが、大きなトピックとして第45号（7月21日発行）に「平沢団地 安全祈願祭」が、そして次の第46号（8月26日発行）には「福島県復興公営住宅 造成工事（土工事）進捗状況」が写真入りで紹介され、いよいよ「次の段階」を見すえた誌面構成になってきたといえる。

表12 第48号～第53号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
48	2015年10月26日	稲刈り&バーベキュー 秋のお茶会 柴原仮設 いも掘り 三春町老朽連会長杯 グラウンドゴルフ大会 高齢者のインフルエンザ予防接種の助成について 11月の休日当番医のお知らせ 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 平沢仮設の出入口が変わりました		熊耳地区の田んぼにて稲刈り実施 10月7日もみじ山仮設で開催 9月29日開催 10月8日町営グラウンドで開催。8名が参加 助成紹介 周辺各地の診療所一覧 10月23日の進捗状況は48%で計画通り 変更の紹介
49	2015年11月27日	第12回三春秋まつり 熊耳仮設 もち米の脱穀 富岡町民交流会 味の素料理教室 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 12月の休日当番医のお知らせ		10月31日、11月1日に貝山運動公園で開催 10月24日に熊耳地区の田んぼで脱穀を実施 10月28日、日本赤十字社福島県支部主催により、福島市内ホテルで開催。富岡町民は180名、内三春地区から13名参加 11月6日平沢仮設で開催 11月27日の進捗状況は58%、予定通り 周辺各地の診療所一覧
50	2015年12月25日	柴原仮設訪問交流会 リース作り マイナンバー申込み受付中 仮設住宅訪問 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 年末・1月の休日当番医のお知らせ 年末年始のお知らせ	富岡一小・二小 3年 富岡幼稚園 メダル贈呈	11月30日に富岡1小・2小児童と住民との交流会 園児4名が訪問 もみじ山、三春の里合同で開催 諸説明 11月29日、熊耳仮設に東北学院大生訪問 12月24日の進捗状況は67%で予定通り 周辺各地の診療所一覧 閉所期間の告知
51	2016年1月26日	熊耳仮設 もちつき はじめまして「みんぶく」です 簡単 板チョコバイの作り方 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 2月の休日当番医のお知らせ		12月27日に開催、熊耳地区会長も参加 団体の紹介 作り方紹介 1月25日の進捗状況は73%、予定通り 周辺各地の診療所一覧
52	2016年2月26日	キャンドルイベント 三春の里仮設訪問交流会 ネズミ捕りシート&ゴミ袋 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 3月の休日当番医のお知らせ 物品の無償引き渡し制度について		1月11日柴原仮設、2月11日熊耳仮設で開催 2月17日に富岡一小・二小児童来訪 配布紹介 2月25日の進捗状況は78% 周辺各地の診療所一覧
53	2016年3月30日	マスク作り 三春滝桜開花予想 お花見の名所 4月の休日当番医のお知らせ 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 平沢復興公営住宅交流会の開催について		3月11日三春の里仮設で開催 4月9日頃を予想 名所紹介 周辺各地の診療所一覧 3月25日の進捗状況は86% 5月14日『まほら』で開催

2015 年下期(第 48 号~第 53 号)の記事構成を示したのが表 12 である。表面を中心に各種イベントなどが掲載されているが、とりわけ公営団地入居予定者にとっての最大の関心事は「公営団地造成工事進捗状況」ではないだろうか。進捗状況は「48%」(第 48 号)、「58%」(第 49 号)、「67%」(第 50 号)、「73%」(第 51 号)・・・などと数字で示されるとともに整備状況がわかるように写真も掲載されていた。

このように平沢公営団地の「いま」を載せつつも、「入居後」の生活を示しつつあるのが支援団体の紹介(第 51 号、写真 3 左)や「平沢復興公営住宅交流会の開催について」(第 53 号、写真 3 右)であろう。



写真 3 『みはる通信』第 51 号(左)、第 53 号(右)

結果として『みはる通信』発行の最終年となった 2016 年度(第 54 号~第 61 号)を確認することにしよう(表 13)。

2016 年秋には平沢公営団地への入居がはじまり、三春町内にある富岡町の仮設住宅は大きな転機を迎えることとなる。一方で富岡町についても帰還困難区域以外の避難指示解除へと動きを見せつつあった。後者を象徴するのが第 54 号(2016 年 4 月 26 日発行)の「夜の森の桜」の記事ではないだろうか。一方で、本号では再度「平沢復興公営住宅交流会のご案内」が掲載されている。そして「造成工事(土工事)進捗状況」も「9 割ほど」となり、いよいよ

よ「次」が具体化してきたことを誌面からうかがい知れよう。

表13 第54号～第61(最終)号の概要

号	発行日	タイトル	サブタイトル	概要
54	2016年4月26日	夜の森の桜 お花見 富岡の顔 さくらの里クリーンアップ作戦 もみじ植樹祭 平沢復興公営住宅交流会のご案内 5月の休日当番医のお知らせ 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況		4月12日現地取材報告 4月3日に柴原仮設内で開催 もみじ山仮設入居者の萩原さん紹介 4月9日に開催、三春の里、もみじ山仮設の住民も参加 3月26日第2もみじ山にて開催 5月14日『まほら』で開催 周辺各地の診療所一覧 4月25日の進捗状況9割ほど、区割りも明確に
55	2016年5月26日	平沢復興公営住宅交流会 ジャガイモ植えつけ体験 三春町からのお知らせ そのごみ ちよつと待った 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 6月の休日当番医のお知らせ		5月14日に開催、52名が参加 4月9日熊耳地区の畑でジャガイモ植付けを実施 ゴミの出し方の注意 造成工事が終了 周辺各地の診療所一覧
56	2016年6月27日	味の素料理教室 三春出張所よりお知らせ クラフト&とみっぴー グリーンカーテン 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 7月の休日当番医のお知らせ	三春の里 柴原秋久保	5月30日もみじ山仮設にてもみじ山・柴原・三春の里合同で開催 放射能測定装置について 5月27日に開催 6月16日に開催 6月15日出張所に設置 住宅建設が進む 周辺各地の診療所一覧
57	2016年7月26日	熊耳仮設 交通安全教室 ジャガイモ掘り 富岡町の復興状況 福島県復興公営住宅造成工事進捗状況 グリーンカーテン 8月の休日当番医のお知らせ		6月29日、田村警察署により開催 7月9日に開催 富岡駅周辺の復興状況を紹介 11月中入居開始見込み 現状紹介 周辺各地の診療所一覧
58	2016年8月26日	夏祭り 9月1日は防災の日 グリーンカーテン 花言葉 9月の休日当番医のお知らせ	第4回熊耳夏祭り盆踊り大会	8月6日に熊耳仮設内で開催 防災の日の趣旨などの説明 現状紹介 柴原仮設内に咲いた蓮の現状 周辺各地の診療所一覧
59	2016年9月26日	富岡町の復興状況 吹き矢に挑戦 高齢者のインフルエンザ予防接種 の助成について クライムロックがオープン 10月のイベント 10月の休日当番医のお知らせ	二本松の菊人形 星の村スターライトフェスティバル	富岡駅周辺の復興状況を紹介 9月15日、柴原仮設で開催 助成紹介 三春の里の自然観察ステーション内にオープン 10月10日～11月23日、霞ヶ城公園にて開催 10月8-10日、星の村天文台とその周辺にて開催 周辺各地の診療所一覧
60	2016年10月26日	平沢復興公営住宅 富岡町・葛尾村復興イベント 風邪を引きやすい冬こそ水分補給 10月・11月イベント 11月の休日当番医のお知らせ	三春の里 収穫祭2016 第13回三春秋まつり	10月28日に住民説明会・鍵引き渡し、11月1日から入居開始 11月5日まほらにて開催 水分補給方法の紹介 10月30日、三春の里田園生活館で開催 11月5日、三春町運動公園で開催 周辺各地の診療所一覧
61	2016年11月28日	第13回三春秋まつり 三春の里 収穫祭 中学生ボランティア 12月の休日当番医のお知らせ		11月5-6日に開催 10月30日、三春の里田園生活館で開催 11月4日、熊耳仮設で富岡一中・二中の生徒が来訪 周辺各地の診療所一覧

そして第55号(5月26日発行)の「平沢復興公営住宅交流会」である(写真4左)。記事によれば、5月14日にまほらにて開催し、52名が参加。建設状況、共益費・区費、自治会の役割のレクチャーを受けた後、レクリエーションや歓談を行ったようである。

一方の富岡町への帰郷を希望している人たちへの記事はどうかの記事はどうなっているのだろうか。それは第 57 号(7月 26 日発行)に「富岡町の復興状況」として示されている(写真 4 右)。



写真 4 『みはる通信』第 55 号(左)、第 57 号(右)

このように論じると「今仮設にいる人たちへの記事はどうか」という疑問があるだろうが、仮設自治会や三春町内でのイベントも掲載されている。ただ、「その次」への関心が高くなっているがゆえに誌面構成の色調もそうならざるを得ないといえるのではないか。そして、三春町内の富岡町仮設では最大のイベントとなっていたであろう「第 4 回熊耳夏祭り盆踊り大会」は最終回をむかえたこともあり、表面全面に展開していた(第 58 号、8月 26 日発行)。

いよいよ残り 3 号である。第 59 号(9月 26 日発行)では「富岡町の復興状況」(写真 5 左)、続く第 60 号(10月 26 日発行)は「平沢公営住宅」(写真 5 右)をそれぞれ表面トップにとりあげている。前者については 10 月 1 日に開設予定の町立とみおか診療所、その周辺に建設中の復興公営住宅のことが、後者は完成した公営住宅、敷地内に設置されるサポートセンター、3LDK や 2LDK の住居の内観の写真が掲載され、「10 月 28 日に住民説明会と鍵引き渡しが行われ、11 月 1 日から入居開始」が記されていた。



写真5 『みはる通信』第59号(左)、第60号(右)

そして最終号となる第61号は2016年11月28日発行であった(写真6)。表面は「第13回三春秋まつり」、裏面は「三春の里 収穫祭」「中学生ボランティア」「12月休日当番医のお知らせ」に加え、以下の文章が付されていた。

残念なお知らせですが、今月号をもちましてみはる通信の発行を終了させていただきますことになりました。

初回発行(平成23年11月)から丸5年。多くの方のご協力のおかげで、5年間続けてこられたと思います。取材の際は快く引き受けてください、ありがとうございました。

私が引き継いだのは今年の11月号からで、読みにくいところや誤字脱字、おかしな文章など…たくさんあったかと思えます。みはる通信の取材を通して色々な体験をしたり、たくさんの方とお話することができました。とても楽しかったです。そして初めて富岡町にも行きました。貴重な経験ができたと思います。

終了には唐突な印象が拭いきれないものの、発行主体である「三春地区自治会連絡協議会」は仮設住宅自治会長らにより結成された会議体であり、公営団地への入居が(ほぼ)完了するこの時期においては「役割を終えた」¹⁰⁾ものといえるのかもしれない。他の要因としては

翌春 2017 年 4 月から予定している避難指示解除にむけて、富岡町役場の再編が 3 月に行われることで三春出張所も廃止になることも考えられる。

いずれにせよ、ほぼ 5 年間 61 号をもって、主に三春町内とその周辺に居住する富岡町からの避難者を対象とした『みはる通信』は幕を下ろしたのである。



写真6 『みはる通信』第61号(最終号)

6.4 仮設入居者向けメディアの意義と課題

さて、今一度『みはる通信』が発行されるようになった経緯をふりかえってみよう。

最初には自分の編集・発行で熊耳通信を出していた。2011年8月頃から月1回、3号まで発行していたところ、町役場が「事務局をやるので三春地区の通信として出してほしい」という提案があったので、4号から現体制になった。この発行を連絡協議会の実績として3年続いている。三春に住む借り上げ住宅生活者も巻き込むために、配布は借り上げも含めて400~500部である¹⁴⁾。

しかし、この時期にはすでに

活動は機関誌発行(『みはる通信』: 役場とワールドインテックが関与)のみであ

る。状況が落ち着いてきて、個別に役所に陳情することが減ったからである。機関誌の内容も見直しの時期に来ており、イベントだけではなくて富岡町の今後も掲載するとかを考えている¹²⁾。

だったのである。終わってからさかのぼってみれば、「仮設内の活動」「町内外のイベント」「その他お知らせ事項」が誌面の中心であったが、連絡協議会の表立った活動がなくなりつつあった2015年度からは「公営団地」「富岡町内」も誌面に組み込まれるようになったのである。

各仮設住宅間の情報共有・交換を目指して設立された「連絡協議会」の主な目的は要望事項の一本化であり、賠償問題や三春町内公営団地設置などについてある程度目処が立った、先のコメントを借りれば「状況が落ち着いてきて、個別に役所に陳情することが減った」段階で一定の役割を終えた、換言すれば連携の必要性もなくなったといえる。誌面やこれまでの仮設自治会長への聞き取りからも、連絡協議会や『みはる通信』発行が仮設住宅自治会のそれぞれで行われている活動の連携を推進させたようには感じられない。

個人的には連合会を通して知り合った方との交流や、避難所で知り合った方との交流はしている¹³⁾。

このコメントが象徴しているのではないか。自治会同士の連携は檜葉町でも「仮設住宅自治会長連絡会議」が設置されたものの、それにより仮設自治会同士の連携がどれだけ進んだかは疑問である¹⁴⁾。

あくまでも本稿は『みはる通信』を起点とした仮設住宅自治会間の連携可能性をみることであり、各々の自治会から立脚した議論ではないことをお断りしたい。ただ、こうした「復興メディア」によって個々の住民レベルで「個人的」な関わりを形成したかもしれないが¹⁵⁾、少なくとも仮設自治会についてはやはり「個人的」な会長同士のつながりは出来たかもしれないが、初期の要望が通った段階で組織としての目的はほぼ消えてしまい、それがゆえに連携は（現時点での調査では「さほど」）生まれなかったのではないか。ただ、かろうじて『みはる通信』は平沢の公営住宅入居まで発行し続けたという意味では数少ない「連携」の証だったのかもしれない。

注

- 1) 2017年4月に一部帰還困難区域を除き、避難指示解除になる予定である。
- 2) 富岡町『県内外の避難先別人数』HPから筆者作成。
- 3) 福島県『応急仮設住宅・借上げ住宅・公営住宅の進捗状況（入居状況）』HPから筆者作成。

- 4) 富岡町役場提供資料による。福島県データと不整合部分があるのは入居実態が伴わない戸数のカウント方法によるものと考えられる。
- 5) 2014年5月17日の熊耳仮設自治会長からの聞き取り。
- 6) 2014年5月17日の熊耳仮設自治会長からの聞き取り。
- 7) 2014年6月1日の連絡協議会長(三春の里仮設自治会長)からの聞き取り。
- 8) 三春出張所から提供された『みはる通信』から筆者作成。
- 9) 2015年6月20日の連絡協議会長(三春の里仮設自治会長)からの聞き取り。
- 10) 2016年12月24日の熊耳仮設自治会長からの聞き取りによれば、熊耳、柴原、平沢仮設の自治会は解散し、2017年4月から富岡町管理になるとのことである。これらの三春町内に設置された富岡町の仮設住宅集約と仮設自治会から他の自治組織への変遷については別稿であらためて論じたい。
- 11) 2014年5月17日の熊耳仮設自治会長からの聞き取り。
- 12) 2014年5月17日の熊耳仮設自治会長からの聞き取り。
- 13) 2013年3月19日の連絡協議会メンバーからの聞き取り。
- 14) これは会津/いわきという連携でなく、いわき市内の仮設住宅自治会長同士でも同じ状況である。以前、「各々の仮設住宅を束ねている会長=自治会長同士は個性がぶつかってしまい、連携なんか出来ない」というニュアンスの話を檜葉町の仮設自治会長がしていたことがある。それは帰町がはじまった2015年9月以降も同様である。
- 15) 平沢団地に入居した大半が三春町内に設置された仮設住宅出身である。今後、これらの入居者への聞き取りにより、この課題を明らかにしたい。